

「山鹿市過疎地域持続的発展計画（素案）」に関する意見募集の結果及び市の考え方について

令和3年8月26日
山鹿市総務部秘書政策課

「山鹿市過疎地域持続的発展計画（素案）」について、市民の皆様からのご意見等を募集しましたので、寄せられましたご意見等の概要と、これらに対する市の考え方を下記のとおり公表します。

ご意見等をお寄せいただきありがとうございました。

記

- 1 募集期間 令和3年7月9日（金）～令和3年8月7日（土）
- 2 意見の件数 8件（4人）
- 3 意見の取扱い ①計画案に反映する ②施策反映させるための参考とする
③反映できない ④その他
- 4 意見・提案の概要と市の考え方

No	意見・提案の概要	市の考え方	取扱区分
1	<p>計画の内容が膨大なため、山鹿らしい項目を数点上げ、全力を注ぐやり方に変更してほしい。</p> <p>また、住民に意見を求める場合は、資料は膨大ではなく、やりたいことを分かり易くして、提示してほしい</p>	<p>過疎地域持続的発展計画につきましては、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条第2項において記載する項目が定められており、また、本市の持続的発展に向けて、幅広い分野での事業推進が必要であるため、項目を絞った形での計画策定は出来ませんが、パブリックコメントの実施に当たっては、概要版を併せて提示するなど、今後の改善策を検討いたします。</p>	④
2	<p>市が考え、計画するのではなく地元任せのやり方を検討し、地域ごと（3～5か所程度）に支援センターを設置してはどうでしょうか。</p>	<p>過疎地域持続的発展計画に掲げる事業の実施に当たっては、市民一人一人をはじめ、企業、団体及び行政がそれぞれの役割を果たし、相互に連携協力しながら取り組んでまいります。</p> <p>なお、支援センターを設置する予定はございませんが、引き続き、地域の実情に応じた活動を支援し、本市の活性化へと繋げられるよう努めてまいります。</p>	③
3	<p>多種多様な方が利用できるスポーツ施設の充実、子どもの十分な遊び場（公園）の確保をしてほしい。</p>	<p>スポーツ施設については、「いつでも、どこでも、だれもが、いつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現」</p>	②

		<p>に向け、スポーツ施設の整備を図り、地域生涯スポーツ活動の拠点づくりを推進するとともに、スポーツを通じた地域コミュニティの形成や活性化を図ります。</p> <p>また、公園については、地域住民の余暇活動に寄与する憩いの場としての重要な施設であり、立地や周辺の自然環境、住民人口などから将来の利用見込みを勘案しつつ計画的に整備を行い、地域の活性化、公園利用者の安全性や快適性の確保を図ります。</p>	
4	<p>山鹿市の進むべき未来像を示してほしい。</p>	<p>本市においては、長期的な展望のもと、本市の将来像を描き、その達成に向けた施策を計画的に進めるための基本方針を「第2次山鹿市総合計画」において、定めております。</p> <p>過疎地域持続的発展計画においては、この基本方針にのっとり、市民一人一人が地域固有の文化、役割を実感し、認識することで地域への誇りと愛着を感じることができる、活力に満ちた地域社会の構築を目指します。</p>	④
5	<p>防災について、災害の少ない、住みやすい町を目指し、避難所の拡充、避難所運営訓練に取り組んで欲しい。</p>	<p>市民の安全・安心の確保のため、避難体制の充実に努めるとともに、市民一人一人の地域防災に対する意識の向上を図り、地域防災力の向上及び充実を進めてまいります。</p>	②
6	<p>広報やまがの月1回定期配布を見直し、有料化してはどうでしょうか。</p>	<p>広報やまがは、本市の施策をあまねく市民の皆様にも周知し、御理解と御協力をいただくとともに、地域の賑わいや特色ある取組を紹介する重要な媒体であるため、今後も月1回の無料配布を実施してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、本市においては、広報紙の紙面数の減少による経費削減、やまがメイトやホームページ、各種SNSなどのデジタル配信の活用による、世代に応じた情報発信を実施しております。</p> <p>今後ともデジタル化の推進等による、更なる経費削減と住民サービスの向上に努めるとともに、広報やまがの内容充</p>	③

		実に取り組んでまいります。	
7	市内の遺跡にお金をかけるべきではない。	<p>遺跡など現在まで残されてきた文化財は、本市独自の貴重な歴史遺産であり、文化財の保存継承は山鹿市民がふるさとへの誇りと郷土愛をはぐくむための基礎となり、地域文化の振興につながるものです。</p> <p>このため、後世への確実な継承が不可欠であることから、今後も文化財を保護していく必要があると考えております。</p>	③
8	市内の光ケーブルを活用し、地元の話を放映するテレビチャンネルを作ってほしい。	<p>光ファイバー網を利用したテレビチャンネル、いわゆるケーブルテレビにつきましては、放送施設の構築及び運営並びに、その後の定期的な改修に多額の費用が必要となること、受信のための専用機器の設置、通信に係る費用など、住民の皆様の負担が大きくなることから、事業実施は困難であると考えております。</p> <p>しかしながら、多くの方が利用されているテレビへの情報配信は重要であると考え、熊本放送（RKK）のデータ放送「デタボン」を利用して、市の情報を配信しております。</p>	③